



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年2月9日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 大  
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高橋健一  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 吉野弘一（TEL）06-6532-4101  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第3四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,792	△5.6	63	△24.9	59	△34.5	57	△0.4
23年3月期第3四半期	5,073	15.5	84	—	91	—	57	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	0.92	—
23年3月期第3四半期	0.93	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,267	1,711	32.5
23年3月期	4,924	1,760	35.7

（参考）自己資本 24年3月期第3四半期 1,711百万円 23年3月期 1,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,130	△6.8	30	△35.3	30	△36.9	25	△51.3	0.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期財務諸表の作成に特有な会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	62,280,394株	23年3月期	62,280,394株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	93,752株	23年3月期	94,112株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	62,186,270株	23年3月期3Q	62,187,574株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による厳しい状況にあるものの、一部の企業に回復の兆候が見られ、国内の経済活動は平常に戻りつつあります。しかしながら、円高の長期化により、輸出産業を中心に業績の下振れ懸念は払拭できない状況にあります。

海外経済は、欧州債務問題の深刻化や中国経済の成長鈍化などの経済不安があり、景気の不透明感が増しております。

当社においても、震災の直接の被害はなかったものの、主要荷主が震災の影響で部品の調達ができず、受注計画が後倒しになるなどの事象がありました。日本経済の収縮や円高の影響で荷動きが低迷し、当第3四半期累計期間の営業収入は前年同期比△281,622千円（△5.6%）の4,792,096千円となりました。

当社は、採算性の低い貸借施設の返還や人件費の圧縮により損益分岐点を下げてきましたが、当第3四半期累計期間は営業収入の減少が当初予想を上回り、当第3四半期の営業利益は63,331千円、経常利益は59,957千円、四半期純利益は57,508千円となりました。前第3四半期累計期間と比較すると、営業利益、経常利益、四半期純利益は、それぞれ20,949千円、31,537千円、250千円の減少となりました。平成23年9月頃から業績は回復傾向にあり、前第3四半期累計期間との乖離は縮小してきております。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

#### ①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は、4,490,653千円（前年同期比△7.2%）で、全セグメントの93.7%を占めております。セグメント利益（営業利益）は、313,438千円（前年同期比△6.5%）を計上しております。円高の長期化による輸出企業の荷動き低迷等が主要な減収減益要因であります。

#### ②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、営業収入は、293,055千円（前年同期比+30.6%）で、全セグメントの6.1%を占めております。セグメント利益（営業利益）は、35,785千円（前年同期比+5.9%）を計上しております。

#### ③その他

当セグメントにおきましては、営業収入は、8,387千円（前年同期比△1.2%）で、全セグメントの0.2%を占めております。セグメント利益（営業利益）は、7,967千円（前年同期比+27.5%）を計上しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、3,170,382千円となりました。前事業年度末比478,061千円(+17.8%)増加しております。これは現金及び預金の増加485,163千円、営業未収入金の減少39,590千円等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は、2,092,199千円となりました。前事業年度末比130,136千円(△5.9%)減少しております。これは、投資有価証券の減少87,517千円、建物(純額)の減少13,006千円等によるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、1,974,077千円となりました。前事業年度末比70,052千円(+3.7%)増加しております。これは1年以内返済予定の長期借入金の増加133,778千円、短期借入金の減少59,000千円等によるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は、1,582,325千円となりました。前事業年度末比322,414千円(+25.6%)増加しております。これは長期借入金の増加321,518千円等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、1,711,536千円となりました。前事業年度末比48,925千円(△2.8%)減少しております。これはその他有価証券評価差額金の減少106,446千円、繰越利益剰余金の増加57,508千円等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、平成23年11月10日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

当第3四半期累計期間は、営業利益63百万円、経常利益59百万円、四半期純利益57百万円を計上しており、通期業績予想の営業利益30百万円、経常利益30百万円、四半期純利益25百万円を既に上回っておりますが、日本の正月、中国の旧正月の影響による1～2月の業績の落ち込みを織り込んでおります。

本件に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,482,535	1,967,698
受取手形	9,835	7,538
営業未収入金	806,619	767,028
立替金	336,473	363,288
その他	69,561	74,135
貸倒引当金	△12,703	△9,307
流動資産合計	2,692,320	3,170,382
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	230,623	217,616
構築物（純額）	3,069	2,801
機械及び装置（純額）	34,770	28,008
車両運搬具（純額）	89,199	93,142
工具、器具及び備品（純額）	13,109	11,915
土地	576,183	576,183
リース資産（純額）	35,746	39,808
有形固定資産合計	982,702	969,476
無形固定資産		
のれん	446,896	425,948
その他	23,163	17,914
無形固定資産合計	470,059	443,863
投資その他の資産		
投資有価証券	611,978	524,460
差入保証金	93,160	92,212
その他	378,975	387,240
貸倒引当金	△314,540	△325,053
投資その他の資産合計	769,573	678,860
固定資産合計	2,222,336	2,092,199
繰延資産		
株式交付費	9,741	5,357
繰延資産合計	9,741	5,357
資産合計	4,924,398	5,267,939

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	66,538	55,986
営業未払金	519,344	537,541
短期借入金	539,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	520,887	654,665
未払金	121,761	71,827
未払法人税等	13,980	11,674
その他	122,514	162,384
流動負債合計	1,904,025	1,974,077
固定負債		
長期借入金	971,092	1,292,610
退職給付引当金	188,035	200,082
その他	100,783	89,632
固定負債合計	1,259,911	1,582,325
負債合計	3,163,936	3,556,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,706	433,543
資本剰余金合計	748,010	747,847
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,257,668	△1,200,160
利益剰余金合計	△1,251,812	△1,194,304
自己株式	△10,525	△10,349
株主資本合計	1,880,071	1,937,592
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△119,609	△226,056
評価・換算差額等合計	△119,609	△226,056
純資産合計	1,760,462	1,711,536
負債純資産合計	4,924,398	5,267,939



(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収入	5,073,718	4,792,096
営業原価	4,698,289	4,434,903
営業総利益	375,429	357,192
販売費及び一般管理費	291,148	293,861
営業利益	84,280	63,331
営業外収益		
受取利息	386	235
受取配当金	9,898	12,751
受取保険料	6,952	—
貸倒引当金戻入額	—	1,061
雑収入	23,948	23,009
営業外収益合計	41,186	37,057
営業外費用		
支払利息	31,448	40,284
貸倒引当金繰入額	738	—
雑損失	1,784	147
営業外費用合計	33,972	40,431
経常利益	91,494	59,957
特別利益		
固定資産売却益	131	1,599
投資有価証券売却益	1,106	609
賞与引当金戻入額	8,678	—
特別利益合計	9,915	2,209
特別損失		
固定資産売却損	—	50
固定資産除却損	326	4
投資有価証券売却損	—	1
投資有価証券評価損	41,445	—
過年度事業所税	6,953	—
過年度事業税	9,399	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,152	—
その他	909	—
特別損失合計	61,186	56
税引前四半期純利益	40,223	62,109
法人税、住民税及び事業税	5,207	4,601
法人税等還付税額	△22,742	—
法人税等合計	△17,535	4,601
四半期純利益	57,758	57,508

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変化があった場合の注記

該当事項はありません。